

2010 COM杯 英語・日本語スピーチ大会

応募要項

●大会趣旨

「Communicator's Cup (略称コムカップ) 英語・日本語スピーチ大会」は、豊かなコミュニケーション能力を支える語学力の育成を目指し実施されるものです。

本大会は、日本に住む日本人の英語学習発達段階を基礎と発展にわけ、それぞれの到達目標となる2部門が設定されています。基礎は、すでに存在する多数の英文(物語、論説等)を自らの興味に合わせ探索、暗誦し発表する英語暗誦部門。発展は、大会テーマに沿った原稿を自らが作成し発表する弁論部門です。この部門に関しては、日本人および日本に滞在する外国人の参加者を募り、日本語、英語いずれか母国語以外の言語にて参加可能としています。これにより、本大会が語学力育成の場であることと同時に、異文化理解、国際交流意識の向上へと寄与することを目的とします。

また、本年10回大会に際しまして、千葉科学大学 留学生別科とのご協力を得て、留学生の日本語弁論やアトラクション、運営進行面での大会参加を予定しています。

●今年度大会テーマ “Peace” 平和 ～愛と希望に満ちた素晴らしい世界のために～

●開催日 平成22年11月6日(土)

STAGE-1 午前10時 大会開始 ～ 12時 閉会予定(暗誦Ⅰ)

STAGE-2 午後1時 大会開始 ～ 6時 閉会予定(暗誦Ⅱ・日本語・英語弁論)

●会場 銚子商工会議所 5階 大会議室 / 1階 大ホール

●部門内容(参加対象)

英語暗誦の部 暗誦Ⅰ：1分30秒(小学高学年～中学1年まで)

暗誦Ⅱ：4分(中学1年～一般の方)

弁論の部 日本語弁論：5分(日本語を母国語としない学生・一般の方)

英語弁論：5分(英語を母国語としない学生・一般の方)

●応募方法 下記2点を大会事務局まで、メール、郵送のいずれかによりご提出ください。 (鮮明な印刷文字でしたらFAXも可)

※大会出場通知は事前に文書にて、出場者ご本人へ通知いたします。

●提出する物

1 発表スピーチ原稿(A4) タイプ又はワープロ等で作成し、1枚内に収めてください。

2 応募用紙(A4) 原稿とは別のA4用紙に以下を記載してください。

*応募部門名 *スピーチのタイトル *氏名 *国籍

*現住所 *性別 *学校・学年 又は 職業・年齢

●応募期間 平成22年7月1日～10月1日 〆切厳守

●審査、表彰 本大会の審査において、特別賞数名、及び、弁論の部より、アピール力・表現力が特に優れ、BeCOMの目指すグッド・コミュニケーターに最もふさわしい1名を、グランドプライズとして表彰。(GP副賞：東京ディズニーリゾート パスポート ペアチケット)

●大会審査 審査員 千葉科学大学国際交流室 他 審査基準 別紙参照

<主催及び大会事務局> NPO法人 国際教育推進プロジェクトBeCOM

〒288-0041 千葉県銚子市中央町12-13 すきくるステーション内

Tel 0479(25)8870

Fax 0479(26)3292

Mail info@be-com.jp

URL http://www.be-com.jp

※いずれの部門も制限時間を超えた場合は減点となります。

●英語暗誦部門(Ⅰ・Ⅱ共通)

Pronunciation 発音	15
Stress, Intonation & rhythm 強勢・抑揚・リズム	15
Fluency & Volume 流暢さ・声の大きさ	15
Impression & Overall Delivery 印象・話し方全般	25
Memorization 暗誦度	30
Total : 合計	100

英語暗誦部門では、自分が選んだ英文を暗記し、規定時間内で明るく美しく正確に、表現力豊かで説得的な発表を目指します。

たとえ複数の人が同じ発表英文を選んだとしても、個々の解釈によって全く雰囲気が変わる場合があります。バレエやオーケストラでも同様ですが、誰かによって作られたものであったとしても、自分の解釈に合うようにアレンジし自分流にする事でその英文は自分のスピーチになり得るのです。

また、審査基準についてですが、まず暗記が完璧でなければなりません。そして基本的英語の発音能力に優れ、文章全体に対する思い入れが聞き手に伝わっているかどうかで評価します。

●英語弁論部門

Pronunciation & Volume 発音・声の大きさ	15
Stress, Intonation, rhythm & Fluency 強勢・抑揚・リズム・流暢さ	15
Impression & Overall Delivery 印象・話し方全般	20
Contents & Uniqueness 内容・独創性	20
Grammar & Usage 文法・語法	10
Construction 構成	10
Thematic Appreciation テーマ認識	10
Total 合計	100

英語弁論部門では、テーマに対する想いを英文で原稿作成し、自分のコトバで表現し、問題提起や価値観の共有を通して、聴衆との心の一体感を目指します。個々の等身大で「伝えたいこと」を明確にしなが、スピーチ作成に励んでいただきたいと思います。

当部門の審査基準については、

- ・発表に説得力があり、聞き手に共感と感動を与えるか
- ・自分で考え、自分らしい言葉で表現されているか
- ・問題を明確にし、理路整然と考察して主張が明らかにされているか
- ・主題（テーマ）に対し、深く考察されているか、適切な段落構成か
- ・英語能力に関しては、正しい英語で話されているか
- ・発表態度としては、熱意が感じられるか、落ち着いているか
- ・非言語的表現（視線・表情・ジェスチャー）が自然かつ効果的かなどのポイントを総合的に評価します。

内容は抽象的な内容よりも、体験談等を含めた具体例があげてある方が、より聞き手に伝わり易いと思います。その際、文章の構成・文法は的確でなければなりません。

弁論部門では発音も大切ですが、内容充実度や説得力を重視します。

●日本語弁論部門

発音	10
文法・語法	10
語彙	10
内容・独創性	20
文章構成	20
表現力・説得性	20
テーマ認識	10
合計	100

日本語弁論部門では、大会の主題（テーマ）に対する想いを日本語で原稿作成し、それを発表していただきます。自分が伝えたい事をはっきりと分かりやすく伝えられる発表を目指します。

当部門の審査基準については、

- ・発表に説得力があり、聞き手に共感や感動を与えるか
- ・自分で考え、自分らしい言葉で表現されているか
- ・問題を明確にし、理路整然と考察して主張が明らかにされているか
- ・主題（テーマ）に対し、深く考察されているか、適切な段落構成か
- ・日本語能力に関しては、正しい日本語で話されているか
- ・発表態度としては、熱意が感じられるか、落ち着いているか
- ・非言語的表現（視線・表情・身振り手振り）が自然かつ効果的かなどのポイントを総合的に評価します。

内容は抽象的な内容よりも、体験談を含めた具体例があげてある方が、より聞き手に伝わりやすいと思います。その際、言葉の使い方が適切であり、文章構成が適切でなければなりません。

発表は、発音も大切ですが、伝えたい内容をよりよく伝わる工夫がされた表現力を意識してください。